

様式第7号（第11条関係）

介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 2年 4月 27日

沖縄県知事 様

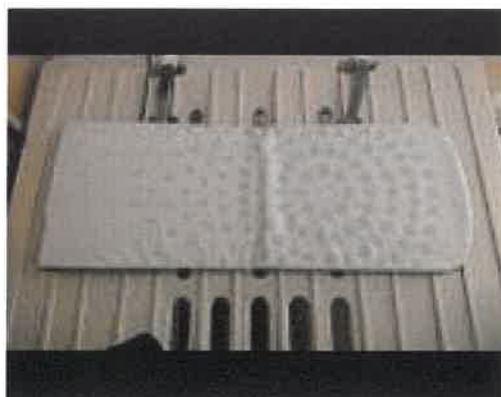
令和 元 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄市字登川1403番地  
事業主体名 社会福祉法人おきなわ長寿会  
代表者職氏名 理事長 大島 邦子 印



事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人おきなわ長寿会		特別養護老人ホームおきなわ長寿苑		介護老人福祉施設	
介護ロボットの種別			介護ロボットの製品名		
見守り			眠りスキャンNN-1520（本体のみ）		
導入時期	導入台（セット）数	購入日		リース・レンタルの契約期間	
令和2年 3月 19日	7台	令和2年 2月 27日		年 月 日から	年 月 日まで
<b>【目標の達成状況】</b> ※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、記載すること。 1日18回（30分おき）の巡回についてはセンサーマットを導入することで9回（5割）の減を目指し、1年目の時点では12回（約3割の減）である。また、転倒、転落事故は0件を目指しており1年目の転倒、転落事故は0件でそれぞれ改善が図られている。					
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入したセンサーは特に転倒、転落のリスクが高い入所者と頻回に状態確認が必要な入所者に利用しているがセンサー導入前より巡回回数が約3割減少し、転倒、転落事故も起こっていない。					
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 職員への聞き取り調査にて「転倒、転落の前に察知できるため心理的負担が減った」などの意見があった。					
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 今のところ不都合はみられない。					

特別養護老人ホーム おきなわ長寿苑（ 7台 ）



様式第7号（第11条関係）

介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 2年 4月 27日

沖縄県知事 様

令和 元 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄市字登川1403番地  
事業主体名 社会福祉法人おきなわ長寿会  
代表者職氏名 理事長 大島 邦子 印

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人おきなわ長寿会		短期入所生活介護 おきなわ長寿苑		短期入所生活介護	
介護ロボットの種別			介護ロボットの製品名		
見守り			眠りスキャンNN-1520（本体のみ）		
導入時期	導入台（セット）数	購入日		リース・レンタルの契約期間	
令和2年 3月 19日	1台	令和2年 2月 27日		年 月 日から	年 月 日まで
<b>【目標の達成状況】</b> ※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、記載すること。 1日18回（30分おき）の巡回についてはセンサーマットを導入することで9回（5割）の減を目指し、1年目の時点では12回（約3割の減）である。また、転倒、転落事故は0件を目指しており1年目の転倒、転落事故は0件でそれぞれ改善が図られている。					
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入したセンサーは特に転倒、転落のリスクが高い利用者と頻回に所在確認が必要な利用者利用しているがセンサー導入前より巡回回数が約3割減少し、転倒、転落事故も起こっていない。					
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 職員への聞き取り調査にて「転倒、転落やエスケープの前に察知できるため心理的負担が減った」などの意見があった。					
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 今のところ不都合はみられない。					

短期入所生活介護 おきなわ長寿苑 ( 1台 )



様式第7号（第11条関係）

介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 2年 4月 27日

沖縄県知事 様

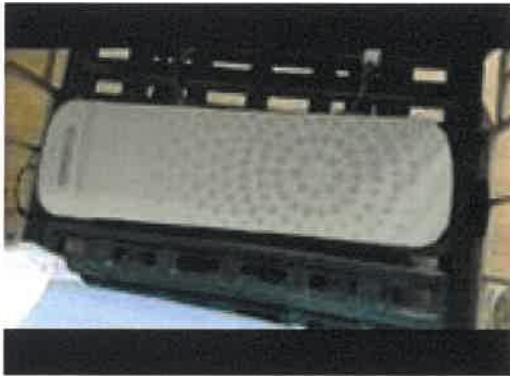
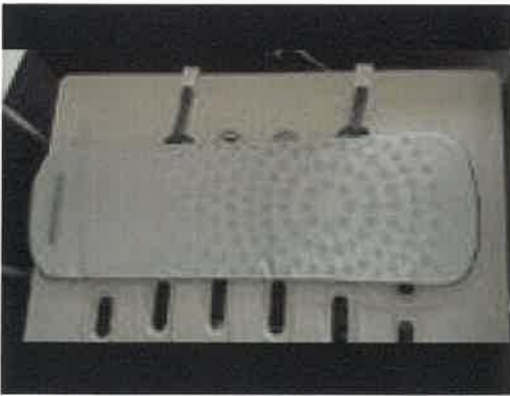
令和 元 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄市字登川1403番地  
事業主体名 社会福祉法人おきなわ長寿会  
代表者職氏名 理事長 大島 邦子 印



事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
社会福祉法人おきなわ長寿会		小規模多機能型居宅介護おきなわ長寿苑	小規模多機能型居宅介護	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		眠りスキャンNN-1520（本体のみ）		
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間	
令和2年 3月 19日	2台	令和2年 2月 27日	年 月 日から	年 月 日まで
<b>【目標の達成状況】</b> ※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、記載すること。 1日18回（30分おき）の巡回についてはセンサーマットを導入することで9回（5割）の減を目指し、1年目の時点では12回（約3割の減）である。また、転倒、転落事故は0件を目指しており、前年度2件あった転倒、転落事故は0件でそれぞれ改善が図られている。				
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入したセンサーは特に転倒、転落のリスクが高い利用者と頻回に所在確認が必要な利用者に利用しているがセンサー導入前より巡回回数が約3割減少し、転倒、転落事故も起こっていない。				
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 職員への聞き取り調査にて「転倒、転落やエスケープの前に察知できるため心理的負担が減った」などの意見があった。				
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 今のところ不都合はみられない。				

小規模多機能型居宅介護 おきなわ長寿苑 ( 2台 )



様式第7号（第11条関係）

介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 2年 4月 27日

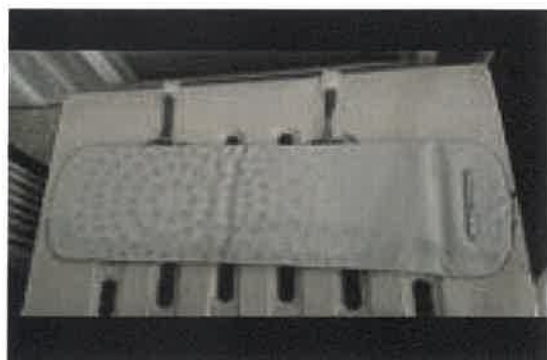
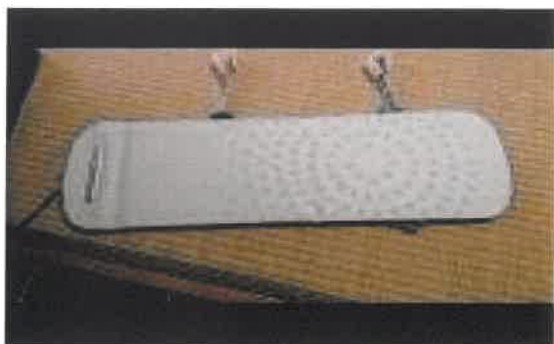
沖縄県知事 様

令和 元 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄市宇登川1403番地  
事業主体名 社会福祉法人おきなわ長寿会  
代表者職氏名 理事長 大島 邦子 印

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
社会福祉法人おきなわ長寿会		老人デイサービスセンター おきなわ長寿苑	通所介護	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		眠りスキャンNN-1520（本体のみ）		
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間	
令和2年 3月 19日	3台	令和2年 2月 27日	年 月 日から 年 月 日まで	
<b>【目標の達成状況】</b> ※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、記載すること。 利用者が休憩時間中の転倒、転落事故の防止と体調不良者の見守り業務軽減を目指し、見守りセンサーを導入。1年目の時点では転倒、転落事故は0件である。また、見守り業務では職員1名が他業務に従事することができ、それぞれ改善が図られている。				
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入したセンサーは特に転倒、転落のリスクが高い入所者と利用中に体調不良になった利用者に使用しているがセンサー導入後より転倒、転落事故も起こっていない。また、職員1名が他業務に従事できるようになった。				
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 職員への聞き取り調査にて「転倒、転落の前に察知できるため心理的負担が減った」「業務にゆとりができた」などの意見があった。				
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 今のところ不都合はみられない。				

老人デイサービスセンター おきなわ長寿苑 ( 3台 )





介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 3年 5月 20日

沖縄県知事 様

令和 2 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 うるま市与那城屋敷名1410  
事業主体名 社会福祉法人 中陽福祉会  
代表者職氏名 理事長 伊禮ミドリ



事業主体名(法人名等)		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 中陽福祉会		特別養護老人ホームあやはし苑		介護老人福祉施設	
介護ロボットの種別			介護ロボットの製品名		
見守り			眠りスキャン		
導入時期		導入台(セット)数	購入日		リース・レンタルの契約期間
令和 3年 3月 18日		14台	令和 3年 3月 17日		年 月 日から 年 月 日まで

【目標の達成状況】

①達成項目(複数選択可)

- 身体的負担の軽減
- 心理的負担の軽減
- 介護時間の短縮
- 業務の効率化
- その他 ( )

②達成内容

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。

- 目標 (「入所者の安全確保」と「夜間巡回の回数軽減(介護職員の身体的負担軽減)」の両立)
- 達成状況(夜間巡回の頻度)
  - ・導入前… 13回/日 (7~20時…7回、 20~7時…6回)
  - ・目標 … 10回/日 (7~20時…6回、 20~7時…4回)
  - ・導入後… 13回/日 (7~20時…7回、 20~7時…6回)

【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- 使用頻度…毎日(日中…約20~60分置き。 夜間帯…約60~90分置き)
- 使用状況…「入所者の安否確認」の方法として、介護ロボット導入前は「部屋を定期巡回し目視確認」で対応していたが、導入後は上記の「定期巡回」に加え「遠隔からのモニタチェック」の手段も行えるようになった。

【介護ロボットの導入効果(使用する業務・使用頻度等)】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。

- 「モニタを見ることで入所者の安否が確認できる」ようになったことで、以下の効果があった。
  - ・安否確認業務の時間短縮。(巡回で目視確認時…2分/部屋。 モニタ確認時…0.5分/部屋)
  - ・「安否確認の頻度増加」による入所者の安全性向上。(モニタ確認が短時間で実施できる為、容易に安否確認回数を増やすことができる)
  - ・「職員の目の届かない時に体調急変が起こらないか心配」という職員の心理的負担の軽減。

【介護ロボットの不都合な点の課題】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

本体の電源コードが短すぎる、かつコード自体が細く強度が弱い為、破損しやすい。  
※ベッドのマットレスに本体を挟んだ状態で使用するが、適宜ギャッジアップやベッド移動をする際、コードが短い為コンセントからコードが抜けそうになったり、ギャッジアップ機構にコードが挟まって切れそうになってしまう。

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

※本体設置



※モニタ画面1



※モニタ画面2



※モニタ画面3



## 介護ロボット導入効果報告書

（ 1年目 2年目 3年目 最終 ）

令和 3年 5月 20日

沖縄県知事 様

令和 2 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 うるま市与那城屋慶名1410  
 事業主体名 社会福祉法人 中陽福祉会  
 代表者職氏名 理事長 伊禮ミドリ

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 中陽福祉会		短期入所生活介護 あやはし苑		短期入所生活介護	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
見守り		眠りスキャン			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間		
令和 3年 3月 18日	2台	令和 3年 3月 17日	年	月	日から
			年	月	日まで
【目標の達成状況】					
①達成項目（複数選択可）					
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
②達成内容					
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。					
●目標（「入所者の安全確保」と「夜間巡回の回数軽減(介護職員の身体的負担軽減)」の両立）					
●達成状況（夜間巡回の頻度）					
・導入前… 13回/日（7～20時…7回、20～7時…6回）					
・目標 … 10回/日（7～20時…6回、20～7時…4回）					
・導入後… 13回/日（7～20時…7回、20～7時…6回）					
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】					
※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。					
●使用頻度…毎日（日中…約20～60分置き。 夜間帯…約60～90分置き）					
●使用状況…「入所者の安否確認」の方法として、介護ロボット導入前は「部屋を定期巡回し目視確認」で対応していたが、導入後は上記の「定期巡回」に加え「遠隔からのモニタチェック」の手段も行えるようになった。					
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】					
※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。					
「モニタを見ることで入所者の安否が確認できる」ようになったことで、以下の効果があった。					
・安否確認業務の時間短縮。（巡回で目視確認時…2分/部屋。 モニタ確認時…0.5分/部屋）					
・「安否確認の頻度増加」による入所者の安全性向上。（モニタ確認が短時間で実施できる為、容易に安否確認回数を増やすことができる）					
・「職員の目の届かない時に体調急変が起こらないか心配」という職員の心理的負担の軽減。					
【介護ロボットの不都合な点の課題】					
※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。					
本体の電源コードが短すぎる、かつコード自体が細く強度が弱い為、破損しやすい。					
※ベッドのマットレスに本体を挟んだ状態で使用するが、適宜ギャッジアップやベッド移動をする際、コードが短いためコンセントからコードが抜けそうになったり、ギャッジアップ機構にコードが挟まって切れそうになってしまう。					

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

**※本体設置**



**※モニタ画面1**



**※モニタ画面2**



**※モニタ画面3**



介護ロボット導入効果報告書  
（ 1年目 2年目 3年目 最終 ）

令和4年4月28日

沖縄県知事 様

令和3年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

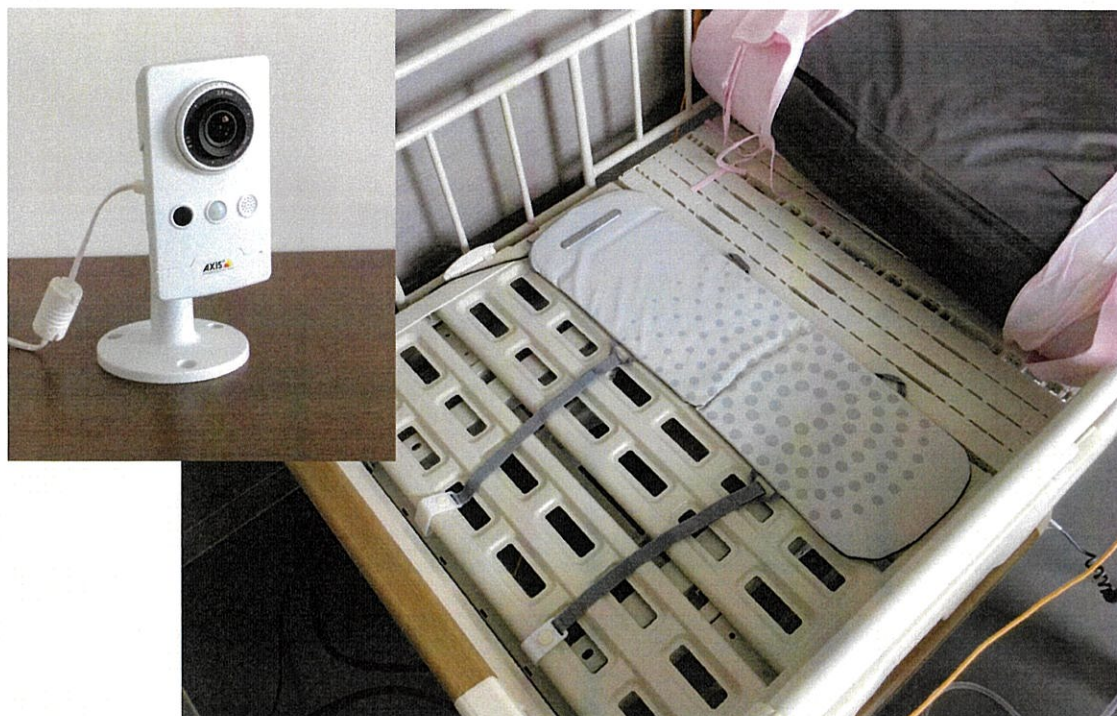
住 所 沖縄県島尻郡南風原町新川538番地  
事業主体名 社会福祉法人 千尋会  
代表者職氏名 理事長 田崎 琢二

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 千尋会		嬉の里 短期入所生活介護施設		短期入所生活介護	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
見守り		見守り支援システム			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間		
令和4年3月23日	2台	令和4年3月22日	年 月 日から	年 月 日まで	
【目標の達成状況】					
①達成項目（複数選択可）					
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化					
<input type="checkbox"/> その他（ ）					
②達成内容					
※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。					
1日平均105回行っている訪室を、見守り機器を導入し可視化したことで、訪室回数を1日平均90回（約25%減）に減らして、介護職員の負担軽減を図っている。					
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】					
※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。					
見守り機器を設置している利用者のベッド上での体動などを常にモニタリングしている。離床、端座位、睡眠状況、心拍数などの情報が携帯型端末で分かるため、起き上がる前に訪室できるため、転倒リスクを減らすことが出来た。また、定期巡回以外の見守りの回数が減り、訪室に費やしていた時間を削減できたことにより確保できた時間を介護サービスに充当できるため、より良い介護サービスの提供ができる。					
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】					
※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。					
利用者の睡眠状況をモバイル端末にてリアルタイムに確認できるので、おむつ交換、体位変換などを行う際、覚醒中ならば介入し、深い眠りであれば介入のタイミングを調整することで、睡眠の妨げを防ぐことが出来る。					
更に、見守り機器を使用することにより、利用者の状況（睡眠、覚醒、離床）が携帯型端末にて確認できるので、訪室回数が約25%削減につながっている。					
また、居室に籠りがちで訪室を好まない利用者に対し、見守り機器を設置することで最低限の訪室のみ行い、適宜カメラの映像などを確認しベッド上での動きを確認している。					
【介護ロボットの不都合な点の課題】					
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。					
眠りSCAN本体の設置位置がずれた場合、センサーの反応が悪い事があるので小柄の方は、設置位置に気を付ける必要がある。					

※1年目の提出時には下記も作成してください

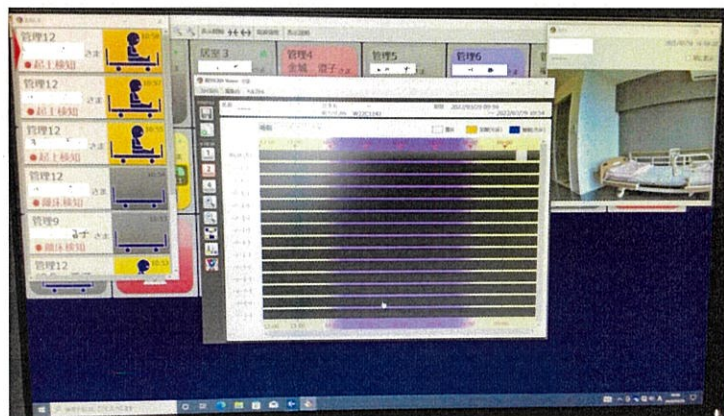
**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません

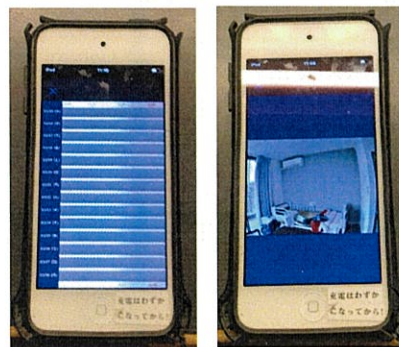


**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



パソコン画面でのモニタリング



携帯用端末でのモニタリング

以下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合に記入すること。

<要件1>

少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うことを予定している。

<p>① 交付申請時の介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) 交付申請時の人員体制を記載すること 利用者10人に対して 介護職員：昼間5人、 夜間1人 看護職員：昼間1人、 夜間0人（特養併設） その他職員：昼間1人、 夜間0人</p>
<p>② 導入計画時に見込まれた介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) 導入計画で示した内容を記載すること 利用者10人に対して 介護職員：昼間4人、 夜間1人 看護職員：昼間1人、 夜間0人（特養併設） その他職員：昼間1人、 夜間0人 ・見守り機器を活用し、携帯端末上で居室内の利用者を画像で確認できることで、これまで職員が行ってきた居室訪室を約2割削減する。 ・巡回業務が約2割減ることで、人員体制を見直し介護職員を昼間で1人減員できるので、余暇活動に重点に置いた職員を配置ができる。</p>
<p>③ 現在の介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) ②と比較可能な記載とすること 利用者10人に対して 介護職員：昼間5人、 夜間1人 看護職員：昼間1人、 夜間0人（特養併設） その他職員：昼間1人、 夜間0人 見守り機器を導入したことにより、携帯型端末で利用者の状態把握、カメラ画像で状況確認が出ることで、訪室回数を約25%削減することが出来た。訪室に係わる時間を削減したことで、確保した時間を利用者に対するサービスに充てることが出来た。 介護職員の削減は達成出来なかったが、職員一人をレク活動に従事させることが出来た。</p>
<p>④ ②の見込みと現在の人員体制が異なる場合はその理由</p>	<p>(※) ②と人員体制が異なる場合の具体的な理由を記載すること</p>

<要件2>

利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

① 導入計画時に示したケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する具体的な取組

(※) 導入計画に示した取組内容を記載すること  
・定期巡回は確実に行いつつ、状態確認のための訪室を見直し業務フローを作成することで、職員全体で業務の統一を図る。  
・巡回業務を見守りセンサー及びカメラ映像で確認できることで訪室回数が減り、巡回に要していた時間が空くことで資質向上を目的とした勉強会を実施したり、月平均約2時間の残業時間削減や入居者向けのレク活動や余暇活動に時間を割くことができるため、入居者へのサービス向上が見込める。  
・介護ロボットやICT機器を活用するために、職員向けの勉強会を月に1回程度開催し、効果的な活用方法、課題点の検証を行い、資質向上に取り組む。時間にゆとりがでることで、職員の身体的・精神的な負担軽減が見込めるとともに、利用者に対するサービス向上が図れ、個別ケアの向上につながる。

② ケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する具体的な取組の実績

(※) ①と比較可能な記載とすること  
・見守り機器からリアルタイムに得られるデータを活用し、睡眠の質に着目するようになり、夜間覚醒が多くみられる利用者の日中の活動内容を見直し、活動内容と睡眠の関係を意識することで、昼夜逆転の改善がみられたため、健康増進に繋がっている。また、訪室に関する手順を見直した結果、訪室に費やしていた時間を削減したことで、レク活動に充てることができサービス向上に繋がっている。月平均2時間の残業時間を削減しており、職員の労働環境も改善している。  
・導入後は製造メーカーから使用状況確認と訪問が適宜あり、それに併せて見守り機器を使用する際の疑問点や、効果的な活用方法など意見交換する勉強会を設け、テクノロジー委員会を中心に介護ロボットの活用促進に取り組んでいる。  
導入当初職員から、見守り機器から得られる情報の活用方法がよく分からず、戸惑っていたが勉強会を重ねるうちに、効率的に機器を活用することが出来るようになった。  
職員からは、見守り機器を導入したことで、訪室回数が減って肉体的・精神的に楽になったとの感想があり、効果が確実に出ています。



介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和4年4月28日

沖縄県知事 様

令和3年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県島尻郡南風原町新川538番地  
事業主体名 社会福祉法人 千尋会  
代表者職氏名 理事長 田崎 琢二

事業主体名（法人名等）	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
社会福祉法人 千尋会	特定有料老人ホーム むつみ寮	特定施設入居者生活介護	
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守り支援システム		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間
令和4年3月23日	6台	令和4年3月22日	年 月 日から 年 月 日まで
【目標の達成状況】			
①達成項目（複数選択可）			
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化			
<input type="checkbox"/> その他（ ）			
②達成内容			
※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。			
1日平均260回行っている訪室を、見守り機器を導入し可視化したことで、訪室回数を1日平均230回（約1割減）に減らし、介護職員の負担軽減を図っている。			
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】			
※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。			
見守り機器を設置している入居者の睡眠状況を確認している。日中に居眠りなどが見られれば夜間の睡眠の質を観察し、生活リズムの改善に取り組んでいる。使用頻度としては、臥床時は常に作動しており、睡眠状況の確認、カメラ画像で臥床時の様子が手元で分かるようにしている。統計データはパソコン、携帯型端末でも確認できるようになっており、更に警告センサーアラートは、リアルタイムで携帯型端末へ表示し、カメラ画像も同時に表示している。			
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】			
※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。			
入居者様の睡眠状況をモバイル端末にてリアルタイムに確認できるので、おむつ交換、体位変換などを行う際、覚醒中ならば介入し、深い眠りであれば介入のタイミングを調整することで、睡眠の妨げを防いでいる。			
更に、夜間帯は少数（30人を2人）の職員で現場を管理するが、見守り機器を使用することにより、入居者の状況（睡眠、覚醒、離床）が携帯型端末で確認出来るので、訪室回数が約10%削減につながっている。			
また、夜間帯に入居者が心肺停止した際、見守り機器が警告を発したことで、迅速に職員が駆けつけることが出来、精神的負担軽減につながっている。			
【介護ロボットの不都合な点の課題】			
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。			
眠りSCAN本体の設置位置がずれた場合、センサーの反応が悪い事があるので小柄の方は、設置位置に気を付ける必要がある。			

※1年目の提出時には下記も作成してください

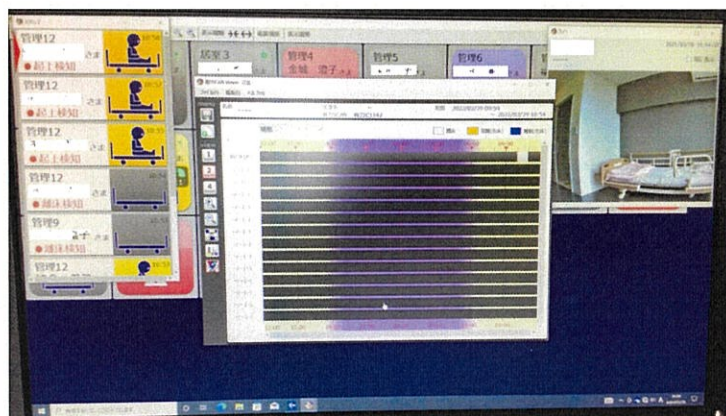
【介護ロボット本体の写真】

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません

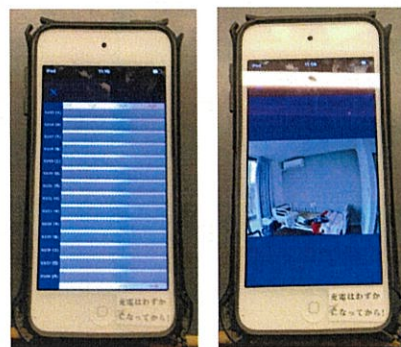


【介護ロボット使用状況の写真】

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



パソコン画面でのモニタリング



携帯用端末でのモニタリング

以下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合に記入すること。

<要件1>

少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うことを予定している。

<p>① 交付申請時の介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) 交付申請時の人員体制を記載すること</p> <p>入居者30人に対して 介護職員：昼間11.4人、夜間2人          看護職員：昼間2人、夜間0人          その他職員：昼間4人、夜間0人</p>
<p>② 導入計画時に見込まれた介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) 導入計画で示した内容を記載すること</p> <p>入居者30人に対して 介護職員：昼間11.4人、夜間2人          看護職員：昼間2人、夜間0人          その他職員：昼間4人、夜間0人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り機器を活用し、携帯端末上で居室内の入居者を画像で確認できることで、これまで職員が行ってきた居室訪室を約2割削減する。</li> <li>・巡回業務が約2割減ることで、人員体制を見直し介護職員を昼間で1人、その他職員を1人減員できるので、余暇活動に重点に置いたを職員配置ができる。</li> </ul>
<p>③ 現在の介護職員等の人員体制</p>	<p>(※) ②と比較可能な記載とすること</p> <p>入居者30人に対して 介護職員：昼間11.4人、夜間2人          看護職員：昼間2人、夜間0人          その他職員：昼間4人、夜間0人</p> <p>見守り機器を導入したことにより、携帯型端末で入居者の状態把握、カメラ画像で状況確認が出ることで、訪室回数を約10%削減することが出来た。訪室に係わる時間を削減したことで、確保した時間を入居者に対するサービスに充てることが出来た。</p>
<p>④ ②の見込みと現在の人員体制が異なる場合はその理由</p>	<p>(※) ②と人員体制が異なる場合の具体的な理由を記載すること</p>

<要件2>

利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

<p>① 導入計画時に示したケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する具体的な取組</p>	<p>(※) 導入計画に示した取組内容を記載すること</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定期巡回は確実に行いつつ、状態確認のための訪室を見直し業務フローを作成することで、職員全体で業務の統一を図る。</li><li>・巡回業務を見守りセンサー及びカメラ映像で確認できることで訪室回数が減り、巡回に要していた時間が空くことで資質向上を目的とした勉強会を実施したり、月平均約3時間の残業時間削減や入居者向けのレク活動や余暇活動に時間を割くことができるため、入居者へのサービス向上が見込める。</li><li>・介護ロボットやICT機器を活用するために、職員向けの勉強会を月に1回程度開催し、効果的な活用方法、課題点の検証を行い、資質向上に取り組む。時間にゆとりができることで、職員の身体的・精神的な負担軽減が見込めるとともに、入居者に対するサービス向上を図れ、個別ケアの向上につながる。</li></ul>
<p>② ケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する具体的な取組の実績</p>	<p>(※) ①と比較可能な記載とすること</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見守り機器からリアルタイムに得られるデータを活用し、睡眠の質に着目するようになり、夜間覚醒が多くみられる入居者の日中の活動内容を見直し、活動内容と睡眠の関係を意識することで、昼夜逆転の改善がみられるため、健康増進に繋がっている。また、訪室に関する手順を見直した結果、訪室に費やしている時間を削減したことで、レク活動に空いた職員を充てることができサービス向上に繋がっている。新型コロナウイルス感染に関する有事体制の残業時間を除けば、月平均2時間の残業時間を削減しており、職員の労働環境も改善している。</li><li>・導入後は製造メーカーから使用状況確認と訪問が適宜あり、それに併せて見守り機器を使用する際の疑問点や、効果的な活用方法など意見交換する勉強会を設け、テクノロジー委員会を中心に介護ロボットの活用促進に取り組んでいる。</li><li>・導入当初職員から、見守り機器から得られる情報の活用方法がよく分からず、戸惑っていたが勉強会を重ねるうちに、効率的に機器を活用することが出来るようになった。</li><li>・職員からは、見守り機器を導入したことで、訪室回数が減って肉体的・精神的に楽になったとの感想があり、効果が確実に出ています。</li></ul>

## 介護ロボット導入効果報告書

1年目 2年目 3年目 最終

令和5年4月28日

沖縄県知事

様

令和4年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住所 宮古島市平良字下里3107番地364  
事業主体名 有限会社 新正クリーンサービス  
代表者職氏名 取締役 下地 雅志

事業主体名（法人名等）	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
有限会社 新正クリーンサービス	グループホームみなみ	認知症対応型共同生活介護	
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	眠りSCAN（NN-1520）		
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間
年 月 日	2	令和5年3月30日	年 月 日から 年 月 日まで

## 【目標の達成状況】

## ①達成項目（複数選択可）

- 身体的負担の軽減  心理的負担の軽減  介護時間の短縮  業務の効率化  
 その他（ ）

## ②達成内容

※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。  
夜間、入眠時一時間一回の訪室入眠を行っていたが、見守り支援システム「眠りSCAN」を導入することで、入居者様の状態がDルームに居ながら確認できる為、プライバシーや睡眠を妨げることなく、タイムリーな訪室が可能になった。  
導入中の2名は、居室へ行く事なく、一時間に一回×2名×7h＝14回（約2割減）であり、すでに目標達成項目が改善できている。

## 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
特に転倒・転落のリスクが高い入居者様2名に使用。ベット上で横になっている際、熟睡できているのか。覚醒しているのか。又、起き上がりたいのかがわかる為、適切なタイミングでトイレ誘導なども可能になったことから、巡回回数は、1名×7回減少し、転倒転落も7回減少した。

## 【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  
夜勤勤務者から、「転倒、転落の危険性が多い入居者様に使用することで、心理的の負担が軽減された。」  
日勤勤務者からは、「昼寝時間のタイミングがはかってきた。」など意見があがっている。

## 【介護ロボットの不都合な点の課題】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
「離床」判定は、体動が一定時間に無いことが条件となっている。その為、実際の動作に比べ10～15秒程度遅れて判定される。

※1年目の提出時には下記も作成してください

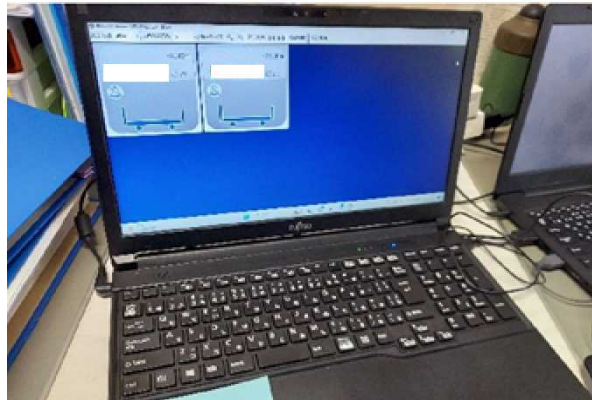
**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和5年4月28日

沖縄県知事 様

令和4年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県島尻郡南風原町新川538番地  
事業主体名 社会福祉法人 千尋会  
代表者職氏名 理事長 田崎 琢二

事業主体名（法人名等）	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
社会福祉法人 千尋会	介護老人福祉施設 嬉の里	介護老人福祉施設	
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り	見守り支援システム		
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間
令和5年2月24日	14台	令和5年2月21日	年 月 日から 年 月 日まで
【目標の達成状況】			
①達成項目（複数選択可）			
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
②達成内容			
※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。			
見守り機器を導入し入居者の状態を把握することで、1日平均4,200回行っていた訪室を1日平均3,300回（約2割減）を目指し、1年目は訪室回数を1日平均3,700回（約1割減）に減らす事ができ、介護職員の業務改善が図れた。			
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】			
※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。			
見守り支援システムを、転倒・転落のリスクが高い入居者へ優先的に設置している。また、日中に傾眠傾向の強い入居者へ設置し、夜間の睡眠の質を観察している。使用頻度は、臥床時は常に作動しており、ベット上の入居者の状況確認、カメラ画像で臥床時の様子が手元で分かるようにしている。また、睡眠データ、心拍数のデータはパソコン、携帯型端末でいつでも確認できる。更にセンサーで感知したアラートは、リアルタイムで携帯型端末へ表示し、同時にカメラ画像も表示している。			
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】			
※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。			
夜間帯は少数（入居者20人を職員1人）の職員で現場を管理するが、見守り機器を使用したことにより、入居者の状況（睡眠、覚醒、離床、端座位等）が携帯型端末で確認できるので、訪室回数が約10%削減された。 また、何か所か同時にセンサーが反応しアラートを発した場合、訪室の優先順位をカメラの画像で判断し対応できるので、精神的負担軽減につながっている。更に入居者の睡眠状況を携帯型端末でリアルタイムに確認できるので、おむつ交換、体位変換などを行う際、睡眠の状況を確認しながら介入のタイミングを調整することで、睡眠の妨げを防いでいる。			
【介護ロボットの不都合な点の課題】			
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。			
小柄の方は、センサーの反応が悪い事があるので、センサー本体の設置位置に気を付ける必要がある。			

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



眠りSCAN設置状況



eyeカメラ設置状況

**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



パソコンでのモニタリング



携帯型端末でのモニタリング



介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 5年 4月 28日

沖縄県知事 様

令和4年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 那覇市識名三丁目20番12号  
事業主体名 医療法人育泉会  
代表者職氏名 理事長 屋宜亮兵

事業主体名（法人名等）	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
医療法人育泉会	介護老人保健施設識名清風苑	介護老人保健施設	
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守りシステム	見守りシステム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間
令和5年3月15日	20台	令和5年3月15日	年 月 日から 年 月 日まで

【目標の達成状況】

①達成項目(複数選択可)

身体的負担の軽減 心理的負担の軽減 介護時間の短縮 業務の効率化  
その他 ( 環境設定(居室移動等)に時間がかかり、まだ軽減等の効果が出ていない )

②達成内容

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。  
介護ロボット 眠りSCANの導入により、夜間・深夜帯においてモニタにて一元的にリアルタイムで利用者の活動状況・睡眠状況を管理する。  
・夜間、深夜帯の見守り業務回数：目標15回/日→5回/日 ・ 現状15回/日  
・夜勤勤務者の配置人数：目標介護職員4人/日→3人/日 ・ 現状4人/日  
・日中介護職員の配置：目標介護職員16人/日→18人/日 ・ 現状16人/日  
・年間休日数の増加：目標休日数108日→124日 ・ 現状108日

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
介護ロボットの使用に当たり、「眠りSCAN」使用予定利用者の大規模な居室移動を予定。また、製品のWIFI受信距離が短いため、WIFI環境の再構築が必要がある。  
現状は数名にテスト環境で下記の通り使用している状態。  
・夕方の申し送り時に眠りSCANのセットアップ  
・モニタ管理  
・必要に応じてモニタリングし、利用者の状況確認

【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  
製品のWIFI環境の制限などがあり、利用者の大規模な居室移動が必要となった。そのため、介護ロボットの導入による具体的な軽減効果や、従業員の満足度については得られていない状況。

【介護ロボットの不都合な点の課題】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
製品のWIFI受信距離が短いため、WIFI環境の再構築が必要となっている。

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 5 年 4 月 21 日

沖縄県知事 様

令和 4 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県那覇市山下町5番30号  
事業主体名 社会福祉法人 沖縄にじの会  
代表者職氏名 理事長 仲西 常雄

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 沖縄にじの会		介護老人保健施設 かりゆしの里		介護老人保健施設	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
見守り		眠りスキャン			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間		
令和5年3月10日	8	令和5年3月10日	年	月	日から
			年	月	日まで
<b>【目標の達成状況】</b>					
①達成項目（複数選択可）					
<input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の効率化					
<input type="checkbox"/> その他（ ）					
②達成内容					
<small>※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。</small>					
①身体的負担の軽減：30%減（モニターでの状態確認で訪室回数減少）					
②心理的負担の軽減：50%減（体調不良者、看取り対象者についてモニターで随時確認できる安心感）					
③介護時間の短縮：20%減（入眠状況を確認し対応する事で睡眠を妨げ覚醒させてしまう事を避け短縮）					
④業務の効率化：20%減（介護ソフトとの連携で記録時間が短縮）					
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>					
<small>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</small>					
・転倒リスクのある利用者の状態確認、安全確保：随時（主に夜間帯）					
・体調不良者、看取り対象者の状態確認：随時					
・利用者の体調管理、ケア検討会議：適宜（睡眠・覚醒状況確認し個別ケア実施方法検討）					
・介護記録：随時					
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b>					
<small>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</small>					
・モニターで入眠状況及び心拍を確認する事ができ、巡視の負担が軽減					
・複数の利用者を一画面で確認する事ができ、対応の優先順位付がスムーズで心理的負担が軽減					
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b>					
<small>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</small>					
・現時点では特になし					

※1年目の提出時には下記も作成してください

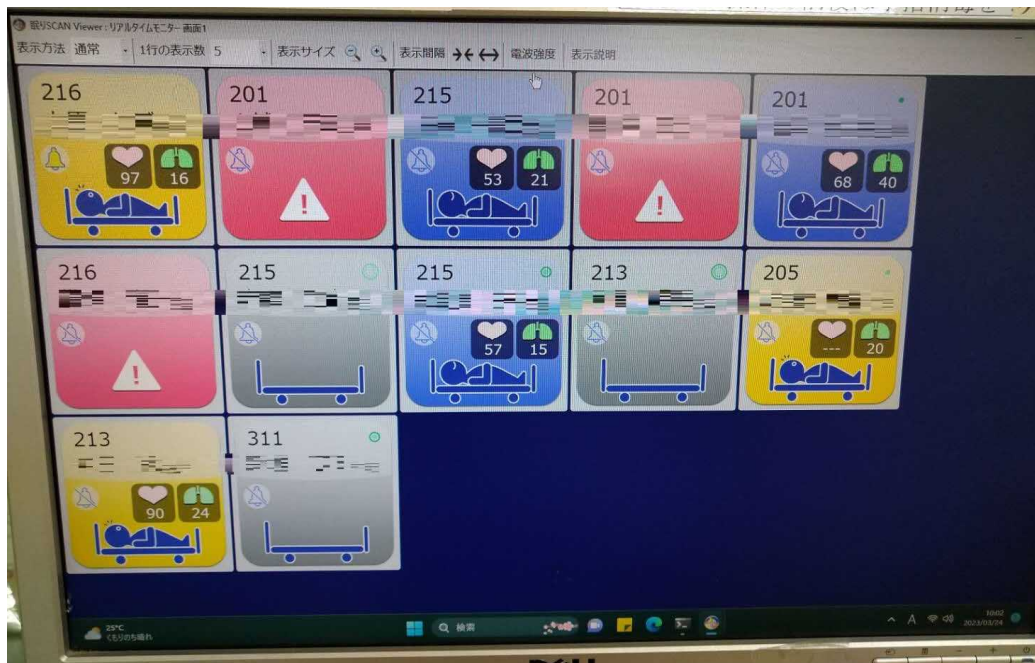
**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。



介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和 5 年 4 月 28日

沖縄県知事 様

令和 4 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県中城村字添石363番地  
事業主体名 社会福祉法人 いなほ会  
代表者職氏名 理事長 新垣 元

事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 いなほ会		介護老人保健施設 信成苑		介護老人保健施設	
介護ロボットの種別			介護ロボットの製品名		
見守り			眠りSCAN		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リース・レンタルの契約期間	
令和5年 3月17日	5台	令和5年 3月 17日		年 月 日から 年 月 日まで	

【目標の達成状況】

①達成項目（複数選択可）

- 身体的負担の軽減  心理的負担の軽減  介護時間の短縮  業務の効率化  
 その他（ ）

②達成内容

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。

・介護ロボットを導入前は夜間帯の見守りを1時間に1回又は安否確認が必要な利用者に対して10分毎に行っていたが、その導入によって利用者の状態をPC上で把握できるため、巡回の回数を約40～50%削減することを目標とした。導入後は概ねそれが達成できているため、大いに改善が図れていると言える。

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・導入した眠りSCANは、心拍や呼吸、睡眠状態の確認が必要な利用者や転倒、転落リスクの高い利用者で使用している。利用者の状態、安否確認をPCでタイムリーに状態確認することから、急変時の早期発見や事故予防に活用できている。また、必要時の連絡方法としてインカムを使用している。（導入期間が1ヶ月程度と短いデータを取り比較するにはもう少し期間を要する）

【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。

・導入して1ヶ月程度であることから職員アンケートは未だ実施してはいないが、特に夜勤を担う介護・看護職員からは身体的、心理的負担の軽減、業務の効率化に大変役立っているとの声がある。また、終日を通して直接目視で確認していた定期巡回以外の業務を40～50%程度削減できており、その空いた時間を他の利用者のサービスに充てることができている。

【介護ロボットの不都合な点の課題】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

今のところ特に無し。

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

